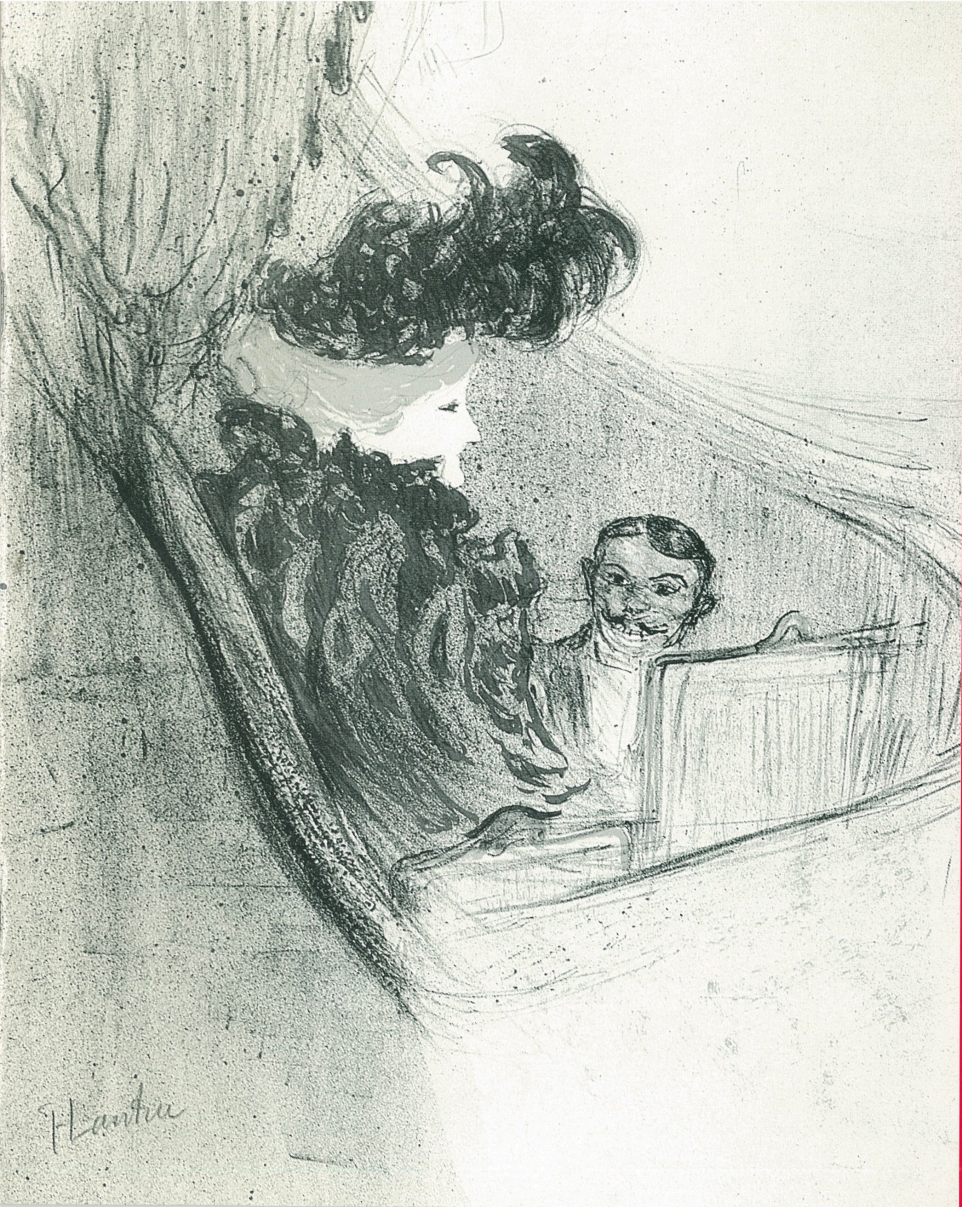


# DIE FLEDDERMAUS



Hantra



芸術文化振興基金助成事業

## 中国二期会ふくやまオペラ

ふくやま芸術文化ホールリーデンローズ開館一周年記念・市民が祝う市制80周年イベント・第16回福山市芸術祭公演

# 12/9



1995

# 12/10

PM5:30開場  
(土)PM6:30開演

ふくやま芸術文化ホール  
リーデンローズ

PM2:00開場  
(日)PM3:00開演

■主催／財ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま芸術文化ホール・中国二期会ふくやま

■後援／福山市教育委員会・福山文化連盟

福山市長 三 好 章

春待月の長夜、喜歌劇「こうもり」が、第16回福山市芸術祭並びにリーデンローズ開館1周年記念行事として、今宵盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

本市におきましては、過去6回のオペラ公演が、活動実績21年の中国二期会の皆様により、いづれもご盛会のうちに催されておりますが、本公演は、福山市及び近郊でご活躍の音楽家の方々が昨年結成された「中国二期会ふくやま」によるものであり、一層の熱演が期待されます。

今日はまた、高橋洋子バレエ団、倉敷管弦楽団の皆様にも素晴らしい舞踏と演奏をご披露いただきます。将来の活躍が期待される若い音楽家の育成を目標とされ、こうした市民参加型のオペラ作りを推し進めておられますことは市民文化の高揚に繋がり、「ばら香り、文化も香るまちづくり」を進める本市にとりまして、大変意義深いことであります。

今後とも、地域の芸術文化の継承・発展にご尽力いただきますようお願い申し上げますとともに、貴会のますますの御発展をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

今日はオペレッタ「こうもり」の公演にご来場賜り、まことに有り難うございます。関係者一同心より御礼申し上げます。

中国二期会は発足以来、本年をもちまして、21年目を迎えておりますが、その間、皆様方の暖かいご支援により、「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファンツッチ」、「カルメン」、「こうもり」、「ヘンゼルとグレーテル」、「夕鶴」、その他、数々のオペラを上演し、地域文化向上の一翼を担ってまいりました。昨年、福山の地に西日本随一の音楽ホール「リーデンローズ」が完成したことを契機に、福山市とその近郊に在住の会員が、より地域に密着した演奏活動ができるようにと、昨年、中国二期会の分身として「中国二期会ふくやま」を誕生させました。

今回の「こうもり」は、全国を股にかけた活躍中の新進気鋭の指揮者山上純司氏の指揮と、日本を代表する演出家の一人である中村敬一氏の演出により上演します。6年前、倉敷市民会館においてこの「こうもり」を、中村敬一氏の演出で上演し、大成功をおさめたことは、私たちににとって記憶に新しい出来事です。また、この公演には幾つかの特色があります。まず、客演として近県在住の優秀な男声の歌手を多数迎えていること、そして、ソリストと合唱のメンバーの過半数が、福山市と、その近郊に在住する人々で編成されていること、また、本番のパーティーの場面では、ゲストに、ご当地の素晴らしいバレリーナと有名人をお迎えしていることです。その他、このオペレッタでは数多くの愉快な場面が出てまいりますので、観客の皆様に大いに笑っていただきたいと思っております。

総合芸術であるオペラは、私たちに大きな喜びを与えてくれます。しかし、それを上演するためには、多くの人、多くの時間、広い稽古場が必要なため、莫大な費用が掛かります。

このたびの「こうもり」が、幸いにも「福山リーデンローズ開館一周年記念公演」として取り上げられ、福山市、並びに福山の文化を支援する「いもづるの会」を始め、各方面の方々より絶大なご支援をいただいた事に対し、関係者一同、感謝の気持ちで一杯でございます。

最後になりましたが、本公演にあたり、熱心にご指導くださいました、指揮の山上純司氏、演出の中村敬一氏、副指揮の大塚 博氏、並びに伴奏ピアニストの方々、中国二期会発足以来、その大部分の公演を支えてくださっている倉敷管弦楽団の方々、今回の合唱を快く引き受けてくださった合唱団の方々、そして、公演に華を添えてくださった方々、陰ながら本公演を支えてくださったスタッフの方々、稽古場を提供くださったリーデンローズ、その他、関係各位に対し、心より厚く御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

中国二期会理事長 大 原 正 義

# DIE FLEDERMAUS

J. シュトラウス  
喜歌劇 **こぶもり** 3幕

原作●アンリ・メイヤック及びL・アレヴィ 喜劇「大夜会」

台本●C・ハーフナー及びリヒャルト・ジュネー

総監督……大原 正義

指揮……山上 純司  
演出……中村 敬一

美術……増田 寿子  
衣裳……岸井 克己  
照明……中山 安孝  
舞台監督……本城 繁治  
舞台監督助手……橋 裕子

副指揮……大塚 博  
合唱指揮……林 国嘉  
稽古ピアノ……高橋 元子  
牧田登美子  
麦尾かおり  
正木 路子

音楽指導……森島 英子

<9日・土>

アイゼンシュタイン ……枝川 一也 ……北村 敏則  
ロザリンデ ……平本 弘子 ……神野 靖子  
アデーレ ……大森 友子 ……土井 範江  
アルフレッド ……平田 孝二 ……平田 孝二  
プリント博士 ……川西 顕 ……川西 顕  
ファルケ博士 ……晴 雅彦 ……晴 雅彦  
フランク ……大原 正義 ……大原 正義  
オルロフスキー侯 ……柳井 弘文 ……清水 史子  
イーダ ……塩出 真弓 ……寺戸 玲子  
フロッシュ ……亀田 豊 ……亀田 豊

<10日・日>

特別出演 ……高橋洋子バレエ団・閑谷雅行(リーデンローズ館長)・  
小川久志(「今日もいい朝」パーソナリティー)

合唱 ……リーデンローズ開館一周年記念合唱団

管弦楽 ……倉敷管弦楽団

---

## オペレッタ「こうもり」のできるまで

---

1873年、「魔笛」の初演で知られるテアター・アン・デア・ウィーン<sup>カサノヴァ</sup>の総監督シュタイナーは、メイヤックとアレヴィに「真夜中の晩餐」という題でオペレッタ台本にしてもらったのを買ったが、余りにもフランス的というので、当時ウィーンで売れっ子の喜劇作家ハフナーとゲネーにウィーン向けに改作してもらい、題を「こうもり」と改めシュトラウスに持っていった所、動物好きのシュトラウスも「こうもりは嫌いだよ」といながら淡々頁を聞いたら、もう本から目が離せなくなってしまった。1873年も終るクリスマスの頃だ。それ以来43日間、ワルツ王の心に青春が蘇り、少年のような情熱で、悪かれたように自ら泣き、笑い、酔い痴れて人間喜劇「こうもり」を作曲した。ワルツ王48歳の時である。1874年の初演は成功とは言えなかったが、1894年、マーラーの指揮で今日の国立歌劇場の前身、ウィーン宮廷歌劇場で取りあげられ、それ以来、ウィーンといえば「こうもり」と代名詞にまでなってしまう、今では大晦日に国立歌劇場、フォルクス・オーパーで観演する「こうもり」を見ないと年が越せなくなってしまった程である。

---

## 「こうもり」について

---

「こうもり」は永遠に結ばれることのないウィンナ・オペレッタが生んだ大輪の花である。なぜなら音楽の中にいつにも変ることのない人間の素質が、男女の機微が深く描かれているからである。男と女の愛、恋はゲーム、愛はプレー、といながらその中に切ない真実の愛がワルツの中からほれ出る。

---

## ●時、所、登場人物など

---

時は1874年、つまり作曲された年である。

裕福な中年の銀行家で遊び好きのガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン（テノール）、育ちが良いので気品のあるその妻ロザリンデ（ソプラノ）、彼女にはアルフレッドという昔の恋人がある。

アルフレッド（テノール）、その名のとおりイタリア系の若い放蕩青年、ロザリンデが結婚した後も固々しく押しかけるテノール歌手、その高音の美しさにはロザリンデも魅惑されている。

アデーレ（ソプラノ）、ロザリンデの女中だが、若いだけに上流社交界に出たり、金持の恋人を持ち、その上自分を美貌と信じ女優になりたいという憧れももっている。

どりの弁護士プリントはアイゼンシュタインの弁護を引き受けながら、5日間の拘留を反対に8日に延てしまうというトンマき減もある。

高名な舞踏会司会者ファルケ博士（バリトン）はアイゼンシュタインの友人。博士が「こうもり」というあだ名を載いたのは、ある晩のこと、仮装舞踏会からアイゼンシュタインと2人で馬車に乗っての帰途、アイゼンシュタインは意地悪く酔払っている博士を置き去りにしてしまう。やがて博士が目をさましてみるとあたりは黒山の人だかり、博士があいにくこうもりの扮装をしていたのでそのとき以来「こうもり博士」と呼ばれるようになった。そのうらみを忘れかねた博士は近くオルロフスキー公爵の邸宅で催される仮装舞踏会で見事復讐をとげたいと思っている。

そのオルロフスキー公爵（アルト）というのはこの世の楽しみにも飽き果てこの溜揚場で豪華な生活をおくっているロシアの貴族である。この役は本来テノールだがその貴公子ぶりから今回はメゾ・ソプラノで歌われる。

イータはアデーレの姉（原作では妹）でバレリーナ。刑務所長フランク（バリトン）は下級官吏からやっとのし上がってきた役人タイプ、フランス語を話したり上流階級の人たちと交際することがうれしくてたまらない。頭は良くないがいかにも善人である。その部下の看守でアルコール中毒のフロッシュ、その他仮装舞踏会の紳士淑女たち。

---

## ●第一幕

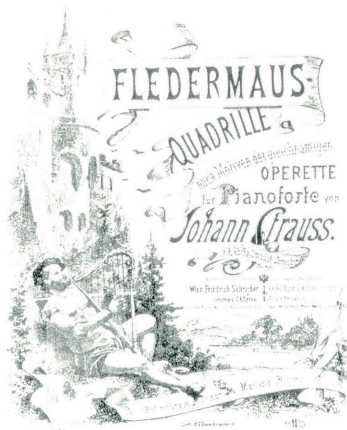
---

アイゼンシュタイン邸の応接間。

舞台裏からアルフレッドが4年前に別れたロザリンデをたずね、得意の声でセレナードを歌っているのがきこえる。

姉のイータから来た手紙をもってアデーレが現れ封を切って読む。「今夜オルロフスキー公爵のパーティに招かれたので、いっしょに参りましょう。」というけしからん文面である。アデーレはなか名案が浮んだらしく、ひとりうなずいて走り去る。

アルフレッドの声を聞いて出て来たロザリンデに、アルフレッドは「君の旦那様は刑務所行き、その留守にまた会いに来るよ」と告げて姿を消す。



そこへアデーレが泣きながら姿を見せ、「叔母が病気で死にそうですわ、わたしはなんで女中なんかになったのでしょう」とこぼすが、ロザリンデは「今宵は旦那様が刑務所行きなので出かけることは許さない」と2人のやりとりになる。

ロザリンデが許さないのと、計画通りにゆかないアデーレが落胆して泣きながら去る。

そこへアイゼンシュタインがプリント博士と口論しながら現れる。拘留期間が延びたアイゼンシュタインは大憤慨。見かねたロザリンデのすすめで博士はブツブツ言いながら帰ってゆく。そこへ訪ねて来たのはファルケ博士、ロザリンデが夫の刑務所入りの身のまわりの品々を仕度するために部屋から出て行った際、アイゼンシュタインにひそかに耳うちしたのはなんと「牢屋に入る前に、今シーズン最大といわれるオルロフスキー公爵の仮装舞踏会へ行って、うき暗らしをしようではないか」というのである。御気嫌なめだだったアイゼンシュタインも「美しい娘たちといっしょに踊れるわい」と急に大はしゃぎ、2人は浮かれて部屋中を歌いながら踊りまわる。

そこへロザリンデが入って来るが、2人のあまりに陽気なおどろくので、ファルケは怪しまれては大笑とばかりに一足先に出かけてゆく。アイゼンシュタインは、その上「刑務所にゆくのには燕尾服を着て出かけよう」と言い出すので、ロザリンデはなにかたくらみのあることを感付いた様子。一計を案じたロザリンデは、今宵訪ねてくると言い残したアルフレッドのことを思い出し、邪魔になるアデーレを、叔母の見舞いにひまをやることにする。

一張羅の酒落した燕尾服を着て来たアイゼンシュタインを見て、ロザリンデは如何にも悲しそうに「お留守中でも毎朝あなたのためにコーヒーをおつぎしますわ」などと心にもないことを殊勝気に語り、アデーレを加えて3人とも「全く憂鬱なことだ」と裏腹なことを言ってなくさめ合う。

牢屋へゆくというアイゼンシュタインと、叔母を見舞いにゆくというアデーレがなぜか嬉々として出かけるのを見守り、アルフレッドがしのびこんで来る。そしてアイゼンシュタインが脱ぎ捨てた部屋着のガウンを着てすっかり旦那様気取り、そして昔すっかりロザリンデを魅惑した美しいテノールで「酒と恋ごこの世の宝」と「酒の歌」を歌い、はじめのうちは外間をはばかり止めていたロザリンデも思わず惹き込まれてしまう。

そこへ誰やら人が訪ねて来た気配、びっくりした2人の前に現れたのは刑務所長のフランク、彼は馬車でアイゼンシュタインの入獄を迎えに来たのである。

部屋着を着てすっかり御気嫌になっているアルフレッドを、フランクはすっかりアイゼンシュタインと感違いをし、ロザリンデも事が面倒になるのを恐れ、嫌がるアルフレッドを主人に仕立てて送り出してしまう。やっとひとりになったロザリンデが、ヤレヤレとばかりにソファに身を投げ出したとき暮が閉まる。

## ●第二幕

オルロフスキー公爵邸の仮装舞踏会。

ウィーン社交界きってのロシア貴族オルロフスキーは、夜毎宴会を催って人生を楽しんでいる。今宵は一段と華やかな宴が催され、人々は踊り歌い、楽しい夜を過ごしている。

多勢の客の中には、奥様の衣裳をちゃっかり借用して来たアデーレが淑女然として澄している。彼女は宴会の席上で姉のイーダに出会うが、イーダは妹に舞踏会の招待状などを送った覚えがないという。どうやらアデーレを招き寄せたのもファルケの計略らしい。

アデーレはイーダと同じ女優で、オルガと名乗ることにする。

ファルケはオルロフスキー公爵に、ひそかに今宵のおたのしみの計画を打ち明け、公爵の間に、「こもりりの復讐」とでも名付けましょうか、と答える。そして「登場人物の第一号」と公爵にアデーレのオルガと、イーダを紹介し、つづいて現れたアイゼンシュタインをフランスのルナル侯爵として紹介する。公爵は人々に、「皆さん、どうぞわが家の家憲に従って、お好きな様に振舞って下さい」と告げる。

ここでファルケは、アイゼンシュタインの家にひとり残っているロザリンデに招待状を書き、使いのものを持ってゆかせる。その招待状には「ハンガリーの貴族夫人に扮して来るように」としるされている。

一方、アイゼンシュタインはグラスを手にして人々の間をめぐり、美しい女の人を物色しているうち、ふと女優オルガに眼をとめる。アイゼンシュタインは「あなたは私の家の女中によく似ていますね」と言うので、見透かされたアデーレは、これは大変とばかり虚勢を張って、「私があなた様の女中に似ていますって。御忠告申しあげますわ。あなたはお医者様のところへおいでになって、脳の検査をなさいまし」と怒った風情をみせる。

人々が嗜博を止めて部屋に入ってくるので公爵は一同に「唯今から面白い座興がはじまります」と披露する。アデーレは興に乗って「私と女中と見誤るなんて、程がありますわよ」とアイゼンシュタインを嘲笑する。

そこへまたファルケの招きによって刑務所長のフランクが、フランスのシュヴァリエ・ド・シャグランとして紹介される。

公爵はこの2人のフランス貴族をひき合わせるので2人は大あわて。



Johann Strauß  
Karikatur (Aquarell) von Franz Gauß

ファルケが「そろそろハンガリーの美しい貴婦人がおいてなる時刻です」と告げるので、公爵は「それまでファルケ博士のお話でも伺いましょう、例の『こうもり』の話を」と言うので、アイゼンシュタインは「それは私のいたずら話です」と引き取る。アイゼンシュタインはおもしろおかしく話すのが公爵は一向笑おうとはしない。公爵は「いまにファルケ博士の仰言るとおり笑えるでしょう」とアイゼンシュタインを抱擁する。

5人がそれぞれ形をつくりながら話し合っているところへ、ファルケに連れられて仮面をつけたロザリンドが登場する。ロザリンドは自分のイブニングを着込んでいるアデーレを見つけて内心怒りに燃える。ファルケが前に紹介されるが、アイゼンシュタインはそれが妻のロザリンドとは全く気がつかない。むしろその美しさにゾッコン参ってしまい、いままで女たらしに用いた当時珍らしい女持の懐中時計を見せびらかしながら口説くので、ロザリンドは時こそ致れりとばかりその誘惑に乗ったふりをして大事な時計をとりあげてしまう。この2人の虚々実々の手立てで時計をやりとりする場面は楽しい。

人々は美しい夫人が本当にハンガリー人かどうかを言い争うので、夫人は「では私の祖国の音楽をおきかせしましょう」と、ハンガリーの民謡調の「チャルダッシュ」を歌う。人々はあまりのすばらしさに喝采をおくり、そのハンガリー生まれの貴夫人であることを疑う者も居ない。一同はシャンパンの杯をあげてにぎやかに歌う。ファルケの「たがいに援助して、みんな兄弟姉妹になろうではありませんか」という提唱に、いっそうにぎやかな雰囲気盛り上がる。一同が夫人につめよって、その素顔を見せたいとねがうとき、東の空は白々と明け、時を知らせる鐘が鳴りはじめる。「ひとつ、ふたつ……六つ、それが6時と知ったアイゼンシュタインは刑務所へゆかねばならぬ時刻。フランクにとっては勤務時間、2人も大あわてで去ってゆく。

### ●第三幕

刑務所の中、フロッシュの事務室。

幕があくとアル中の夜勤の看守フロッシュが千鳥足で入ってくるが、すぐさまいびきをかきながら眠り込んでしまう。

一方、アイゼンシュタインの替玉として入獄させられたアルフレッドは、獄中もかまわず歌いまくり、その歌声がきこえてくる。

そこへ盛装のままのフランクがオルロフスキー公爵邸の楽しい舞踏会の気分を忘れかね、そのときのメロディーを口笛で吹きながら入ってくる。あの子の女優オルガのことが忘れられない。

我に返ったフランクが、燕尾服を脱ぎ捨てたところにフロッシュが報告に入ってくるが酔っ払っているので要領を得ない。

そこへ早朝から2人の御婦人が面会に来訪、それはなんとアデーレとイーダである。実は昨夜舞踏会でフランクが御気嫌のあまり、「立派な女優にとり立ててやるよ」と言ったばかりに、シュヴァリエ・ド・シャグラン氏、実はフランクの跡を追って、その約束の実行を追ってきたのである。アデーレたちは、すでにファルケからシャグランの実体や住所を聞き、すべてを承知の上でやって来たのである。

困りきったフランクが、それではなにか才能はあるのか、という問いにこたえてアデーレは早速「私は百姓娘なんか上手よ、私をオペラ歌手にさせなかったのが間違い、女王様の役だって出来るんですよ」と歌い、途中からフランクとイーダがそれにつつまれる。

フロッシュがまた面会人の来訪を告げるので、フランクは2人の御婦人のもとをなしてフロッシュに一任すると、フロッシュは2人を牢獄の中へ案内してしまう。

現れたのは牢獄に入るつもりでやって来たアイゼンシュタイン。思いがけなくそこにシュヴァリエ・ド・シャグランを発見しておどろいてしまう。フランクが真実を白状するが「最高の御託話を」と言って信用しない。

やっとう実状がわかったアイゼンシュタインが入牢のためにやって来たことを告げると、フランクが呑みかけたソーダ水を吹き出しておどろく。「それこそ最高の御託話、実は昨夜私自信がアイゼンシュタイン氏を護送し、すでに入牢中」と言う。

アイゼンシュタインは一計を案じ、やって来た弁護士から、書類入れや法服、かつらまで奪って追い出し、自ら弁護士になりすましてしまう。

フロッシュに導かれたアルフレッドが牢獄から姿を現わすが、そこへロザリンドも出会う。ロザリンドは「もうすぐ夫が来る予定」と大あわて、そこへ弁護士に扮装したアンゼンシュタインが現れて2人に昨夜の出来事を訊問する。内心怒りに燃えたアイゼンシュタインの烈しい言葉に、ロザリンドは「私は夫の浮気には我慢なりません、昨夜などは他の女性に言い寄ったりなどして、本当に眼玉をえぐり出してやりたいほどです」と答える。

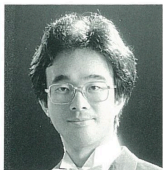
それを聞いてついに我慢出来なくなったアイゼンシュタインは「われこそお前の夫」と名乗り、2人をびっくりさせる。

ロザリンドは昨夜舞踏会の席上で取りあげた時計を眼の前にもちらつかせるので、さすがのアイゼンシュタインも怒ることが出来ない。そこへファルケが現れ、その前でアイゼンシュタインとアルフレッドが、どちらが入牢すべきかと言い争っているところへ、フロッシュに導かれたアデーレとイーダが姿をみせる。ファルケは「すべてを明らかにするため、他の証人たちにも出てもらわねばなりません」と一同を招き入れる。

突然たるアイゼンシュタインに、ファルケが事のでんまつを説明する。このすべては芝居だったという一同の言葉に、現れたオルロフスキー公爵も「実は私もこの芝居に一枚加わったのだよ」と告げる。

アルフレッドも「実は部屋着も小道具だロザリンドと喰べていたという夜食も筋骨さ」と言いながら小声で「全部が芝居じゃなかったのだが」とつぶやく。

アデーレが「私はどうなるの」と言うので、フランクが「恋人兼父親の立場で、あなたにオペラの舞台に立てるよう勉強してもらいましょう」と言う。オルロフスキー公爵は「私こそ芸術の保護者、しかしすべて私の家訓通り、それぞれ好きなように振舞って下さい」と告げ、一同は杯をあげ「すべてはシャンパンのなせるわざ」と乾杯して幕を閉じる。



指揮  
JUNJI YAMAGAMI  
山上 純司

1960年水戸市生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻前期修士課程修了。指揮を沙澤安彦、遠藤雅古、渡邊暁雄、ビクター・フェルドブルル各氏のもとで学ぶ。

1990年より2年間北西ドイツ音楽アカデミー・デモルト音楽大学に留学。カール・ハイント・ブレメ教授、ベーター・ヤコビ教授らのクラスで、主にオペラの指揮を学ぶ。また、モーシェ・アツモン、ガリー・ベルティニ、ミハエル・ギーレン、マイクロシュ・エルディリー各氏からも指導を受ける。留学中より、ルーマニア国立オラデアフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会や、チェコの西ボヘミア交響楽団の演奏会に出席。またドイツではオフエンバックのオペレッタ「CROQUEFER」の公演を指揮した。日本ではこれまでに札幌交響楽団をはじめ、群馬交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪フィル、オーケストラアンサンブル金沢、岡山フィル、広島交響楽団などを指揮している。

副指揮  
HIROSHI OTSUKA  
大塚 博



国立音楽大学にてトロンボーンを伊藤清氏に師事。1976年卒業後、国立北西ドイツ音楽院デモルトにてトロンボーンをヴァイリー・ヴァルター氏に師事。オーケストラをマルティン・ステファニーニ、オペラをニクラウス・エッシュバウハー、管楽アンサンブルをヨスト・ミハエルス、金管アンサンブルをクラウス・ローデンケンブアー各氏に師事。1982年帰国後、岡山、広島にてリサイタル開催。

指揮者としては、1985年以来中国二期会にて多数指揮する。1987～91年岡山交響楽団常任指揮者。1987年より岡山パッハ・カンタータ協会指揮者。

現在、中国短期大学音楽科、岡山中学高等学校の各講師。岡山交響楽団顧問。桃太郎少年合唱団音楽顧問。夕なぎオーケストラ指揮者。日本演奏連盟会員。



演出  
KEIICHI NAKAMURA  
中村 敬一

東京生まれ。はじめ声楽家を志し、武蔵野音楽大学、同大学院で学ぶ。在学中、同大学公演では、「フィガロの結婚」の伯爵等を演じる。卒業後、舞台監督集団〈ザ・スタッフ〉でオペラスタッフとして活躍。以降、鈴木敏介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして、オペラ研鑽を積む。1989年より1年間、文化庁派遣の在外研修員として、ウィーン国立歌劇場で研修。帰国後、「リメイク版フィガロの結婚」、二期会デビューの「ドン・ジョヴァンニ」で、高い評価を得、続く「ボッペアの戴冠」では、その演出力の高さが絶賛された。音楽的な視点と豊かな感性による独創的な舞台づくりは、広く認められている。主な演出作品として「オロンテア」「ボッペアの戴冠」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「カイロの鷲鳥」「ヘンデルとグレーテル」「こうもり」「修道女アンジェリカ」「泥棒とオールドミス」「霊媒」「アマールと夜の訪問者」「電話」などがある。

国立音楽大学講師・日本大学芸術学部講師・'95年オペラジョー賞受賞

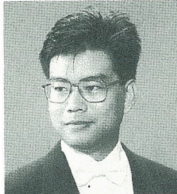




アゼンシタウ・銀行家 (9日)  
枝川一也 (客演)

'83年、東京芸術大学声楽科卒。'86年、同大学院地声科修了。'86年-'89年、イタリヤ・ミラノ留学。渡辺高之助、佐藤幹一、G.フランツァリ、D.E.エルベレツの各氏に師事。'82年、芸メソサイアでデビュー。同年、芸メソサイア受賞。パッサ「ロ短調ミサ」、ペートル・ワグネル「第9」、パッサ「スタイ受難曲」(エヴァンゲリスト)、シューマン「ファウスト」、モーツァルト「レクイエム」等、イタリヤ、ドイツ、オーストリア、日本各地で数多くの演奏会に出演。オペラは「ボエーム」(リリア)、「チエッキーナ」(月の世界)、「パリアッチ」、アジア大会協賛オペラ「嵐」等に出演し好評を得ず。

現在、広島大学教育学部音楽科専任講師、グルベンナー会員。



アゼンシタウ・銀行家 (10日)  
北村敏則 (客演)

京都市立芸術大学声楽専修科卒業、同大学院修了。ウィーン留学。音楽学部賞及び博士学位を受賞。1988年、第2回「S.G.日本国際歌曲コンクール」1位。アゼンシタウ賞を受賞。1992年、第1回日本音楽賞受賞。1993年、第36回定期演奏会に出演。1994年、昭和城世界文化遺産指定記念イベント、オペラ「おひびく清和」の役、清和朝に抜擢される。

国際音楽文化交流として、ドイツ各地での演奏旅行に参加。CD「モーツァルトの世界」を発売。

ウィーン、アマイトホーフ、ホルツァー等、各地でリサイタルを開催。モーツァルト・フェスティバルとして注目される。マニョーラ大地的歌、モーツァルト「レクイエム」、ペートル・ワグネル「第9」のソロ、パッサ「カンタータ」を始め、ヨハネ・マタイ受難曲のエクストラクトなどでも高い評価を得ている。役者木下圭一、藤田裕行、各氏に師事。日本シューベルト協会同人。現在、京都市立芸術大学非常勤講師。



アデーレ・メイド (9日)  
大森友子

東京声楽音楽学校教員養成科卒業。同、オペラ研究科修了。

依田嘉美子、矢部礼子、古賀恵美子、坂元陽子、井上清光の諸氏に師事。岡山演奏家協会、倉敷音楽協会、各会主催フレッシュコンサート、サマーコンサート、クリスマスチャリティコンサート、20周年記念コンサート等に出演する。また、阪神大震災義援コンサートにも出演する。

中国二期会主催の演奏会、オペラでは、オペラ「位いた忠鬼」のナレーター役、倉敷芸文館開館一周年記念オペラ「魔窟」では、パミーナを演じる。現在、岡山演奏家協会会員



アデーレ・メイド (10日)  
土井範江

大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業、同大学卒業演奏会出演

川下洋行、田原祥一郎の諸氏に師事。中国二期会オペラ「カルメン」のフラキータ役でデビュー

その他「海」の踊り着たちのキスシンドレ、「さうりこひ」のアデーレ役、「魔法の笛」のバナーナ役、「あまんじゅく〜とりこひめ」のあまんじゅく役等 多数出演。

又 歌曲の夕べ、ロマティックオペラコンサート等出演

関西日伊コンクール入選

関西日伊音楽協会主催、日伊交歓カラオケコンサートに出演

国立病院附属看護学校音楽講師

レディーズコーラス「虹の色」指導



ロザンデ・その妻 (9日)  
平本弘子

広島大学教育学部音楽科卒業、田原祥一郎国立シェットワルト音楽大学に留学。スイスのリュッセルン・コンセルバトワール夏季マスタークラス受講。小林敦子、平信子、大熊文子、E. グリッナー、K. リヒター、U. クラウツ、田原祥一郎の諸氏に師事。

オオサでは、中国二期会公演によるオペラ「フィガロの結婚」のスザンナ、「魔窟」のグロミーナ、「コシ、ファン・トワック」のフィオレリリーダ、「さうりこひ」のロザンデなど、数々のオペラに出演。ペートル・ワグネルの「第九響曲」、パッサの「ロ短調ミサ曲」、「マイ受難曲」、モーツァルトの「魔窟ミサ曲」等のソロを歌う。ソロ・リサイタルは、9回開催。

1994年5月にCD平本弘子日本歌曲集「花の国」を制作発表

現在、福山市立女子短期大学教授、福山YMCA女声合唱団コール・ローゼ指揮者、声楽グループ「ドゥース・フルール」主宰。



アルフレッド・音楽教師  
平田孝二 (客演)

昭和14年岡山県生まれ。文科系卒業。早稲田大学卒業。東京芸術大学同大学院修了課程地声科修了。

モーツァルトのオペラ「レクイエム」のフィオレリ、アマイトホーフでデビュー

モーツァルト「フィガロの結婚」のバシリオ、「魔窟」のグロミーナ等の出演。故郷、岡山をテーマにした三木純作曲「ワタシ」で虚空「おおさく」の大役を岡山シューベルトホールで務め、その後の11歳級友会は好評を得、続けて同作品東京公演では津見(つづみ)で出演。鎌倉芸術館落成記念オペラ「静夜歌」のイ勢助役をシテングキョウで務めた。甘いマスクと声が認められオレック「小夜祭り」のスタンニラウズ伯爵、ワグネル「縁助」のアルフレッド、中国二期会公演モーツァルト「魔窟」のグロミーナで出演。オサトリオでは芸大定期「メソサイア」、ペートル・ワグネル「第九」、シューベルト「ミサ曲」等のソロを努める。スタジオ平野所属。



ロザンデ・その妻 (10日)  
神野靖子

国立音楽大学声楽科卒業

別所忠子、平本弘子、田原祥一郎、星野明子の諸氏に師事。

中国二期会主催「魔窟」の夕べ、設立10周年記念ガラコンサート、中国二期会ふくみやま結婚コンサート、ドゥース・フルール主催「マウヴェール」ガラコンサート、「ドイツ歌曲の夕べ」、星野明子とともに、「魔窟」新演劇公演の夕べ、「モントリ・リサイタル」等に出演。10月にリーナローズ小ホールにて第1回ソロ・リサイタルを開催。オペラでは中村敦一演出、佐藤幹一演出「フィガロの結婚」の合唱役オーディションにより出演。バルバリーナ役には独逸・ベルギー舞台をよみ、続いて中国二期会オペラ公演「魔窟」に侍女1役を演じる。

現在、府中高等学校非常勤講師、福山音楽院講師。女声合唱団「フルール会」ヴォイスレパートリー、あじさい合唱団指揮者。コンサート、カプリオチオン、女声声楽アンサンブル「ドゥース・フルール」所属。



プリント博士・弁護士  
川西 顕

作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業

蓮井美道、今西三典、田原祥一郎、大原正義の諸氏に師事

同大学内音楽演奏会出演

「バトロンビヤ」によるジョントリサ「イタ」開催

「中国二期会創立20周年記念、オペラ・ガラコンサート」

福山文化連盟音楽部主催、リーディング・ローズ開館記念公演「音の祭典」

中国二期会ふくみやま主催「ロマンティックオペラコンサート」

並江に「フレッシュコンサート」等にも出演

倉敷芸文館開館1周年記念公演、オペラ「魔窟」にて借目役及び兵士1役を演じる中国二期会準会員



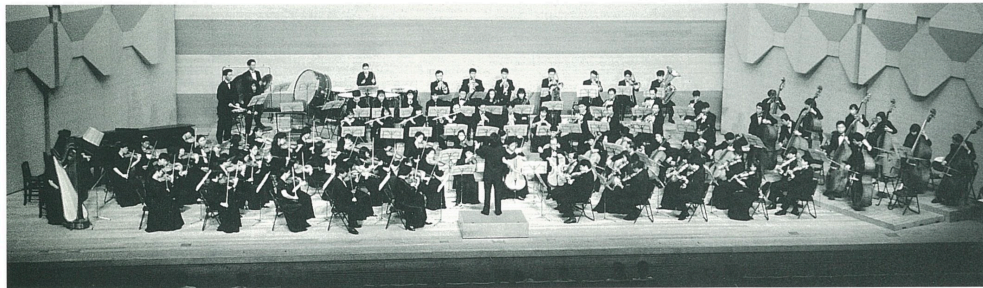
# 倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲までの幅広い演奏活動で昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を大きく期待されています。

定期演奏会では早川正昭氏、フォルカー・レニッケ氏、堤俊作氏、古谷誠一氏、湯浅卓雄氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、田中良和氏、小出雄聖氏ら各地で活躍中の指揮者を客演指揮者として招き、またフルートの世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏との共演をはじめ、ヴァイオリンの和波隆禧氏、前橋汀子氏、豊田弓乃氏、景山誠治氏、漆原啓子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、チェロの岩崎流氏、安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエのディーテルム・ヨナス氏、トランペットの津堅直弘氏、ギターの福田進一氏、又岡山県内で活躍中の音楽家達との共演や、園伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」の初演、創立10周年記念の400名から成る第九演奏会、オペラではモーツァルトの「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼーの「カルメン」、J. シュトラウスの「こうもり」、フンパーディングの「ヘンゼルとグレーテル」、プッチーニの「蝶々夫人」等数多くの舞台をうけてもっている。又15周年を記念して「三枝成彰with倉敷管弦楽団スーパードリーム・ジョイントコンサート」を行ない、倉敷音楽祭では、瀬戸大橋開通を記念して小六禮次郎氏作曲の交響詩「瀬戸内の歌」を大成功におさめるなど、多彩な演奏活動を続けています。

## 出演者

■第1 ヴァイオリン	■第2 ヴァイオリン	■ヴィオラ	■チェロ
阿曾沼和代	樽谷美幸	八木原周平	光延勢
岡崎良弘	赤木信子	伊藤藤子	池田田誉
鮑浦良和	大倉尚子	鎌田善	栗木由美子
岩瀬裕子	佐々木学	菊池東子	黒田正典
木村啓子	平松鏡子	久磨品	田辺幹夫
小林佐知	福田みどり	武本克巳	堀内千絵
陶山容良	三宅美智子	友野良一	■コントラバス
友野佳代	宮副久美子	新見由枝	本屋敷勝信
中西紀子			難波由和
丸山博樹			矢田和志
			山口里志
■フルート	■オーボエ	■クラリネット	■ファゴット
坂口充倫	細美肇	児玉史子	稲田裕彦
月本裕子	佐口康晴	松本美和子	中川佳己
■ホルン	■トランペット	■トロンボーン	■打楽器
文谷功	山口裕司	曾布川拓也	伊達明子
板谷信昭	岡本卓也	平松保利	成田品子
小山紀章		光井伸行	仁城英子
吉市幹雄			森永多美子
■ハーブ			
竹村知子			



## リーデンローズ開館一周年記念合唱団

### Soprano

青木 裕里 (中国二期会) 志田原節子 (コールローゼ)  
岡野 恭子 ( " ) 松浦 典子 ( " )  
田口 悦子 ( " ) 柳原 英子 ( " )  
廣瀬 倫子 ( " ) 立川 美加  
勇木 沢美 ( " ) 藤川多恵子 (ドレス・フルール)  
香川まどか 門田 安代

### Alto

甲斐 浩子 (コールローゼ) 石川 博子 (福山混声合唱団)  
佐道寿美子 ( " ) 黒瀬 幸子 ( " )  
金光 直子 (虹の会) 森岡 広子 ( " )  
洲崎 素子 ( " ) 杉原加世子 (虹の会)  
香西 香 藤井 修子 (フィロコール旭)  
寺延 行美 (フィロコール旭) 溝口 邦美 (ドレス・フルール)

### Tenor

石山 登 (コールフロイデ) 西沢 舜三 (コールフロイデ)  
井上 健三 ( " ) 作田 健治 ( " )  
小林 昇 ( " ) 鈴木 清文 ( " )  
水田 正 ( " ) 浜田 正人 ( " )  
吉田 精二 ( " ) 井上 康則 ( " )  
綾 芳一 (福山中興合唱団)

### Bass

河村 恭弘 (コールフロイデ) 森下日出男 (コールフロイデ)  
佐方 光 ( " ) 島田 博明 ( " )  
小曳 美亮 ( " ) 中村 哲朗 ( " )  
加茂 一三 ( " )  
門田 裕次 ( " )  
松坂 彰三

## 高橋バレエ団



高橋 洋子



高橋 里沙

門田美佐子 河野育子 下宮真由美 西村奈津子

団長 高橋 淳三  
代表 高橋 洋子

1956年 高橋洋子バレエ学園創立

1990年 高橋バレエ団結成

福山を本部とし、大阪千里山、府中、沼隈、加茂、神辺に支部を持ち、生徒の発表会とバレエ団公演を主な活動とし、依頼によって種々のイベントにゲスト出演もしている。

1991年の学園創立35周年記念「白鳥の湖全幕」の公演に対し、日本芸術振興基金より助成金の交付を受けた。これは西日本のバレエ団では初めてのことであり、1992年に福山市より高橋洋子が文化賞を受賞。

## 中国二期会のあゆみ



- |          |  |                              |  |
|----------|--|------------------------------|--|
| 1973年 7月 | 支部設立。会員6名。オーディションにより新会員10名。準会員8名、総勢24名により発足。                   | 1980年 4月                     | 55年度会員募集<br>(15名応募、会員2名、準会員4名合格)                             |
| 10月      | 設立記念演奏会(岡山三木記念ホール)   | 10月                          | 二期会オペラアンサンブルの夕べ「コシ・ファン・トゥッテ」「カルメン」(岡山市民会館3日)                 |
| 1974年 5月 | 49年度会員準会員募集<br>10名応募、会員2名、準会員1名合格入会。                           | 10月                          | あなたのオペラわたしのオペラ「オペラハイライト」「スザンナの秘密」(高松14日・丸亀25日・観音寺26日・普通寺27日) |
| 5月       | 研究生制度発足 第一期生17名、予科入学。  | 12月                          | 第5回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)                                     |
| 7月       | 高松演奏会(高松農協会館)  | 1981年 3月                     | 56年度会員募集<br>(16名応募、会員1名、準会員8名合格)                             |
| 1975年 3月 | 研究生修了演奏会(岡山文化センター)   | 8月                           | 中山樗一リート研究会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)                                  |
| 5月       | 50年度会員準会員募集<br>12名応募中会員2名、準会員2名合格入会。第二期研究生10名入学                | 11月                          | オペラ「フィガロの結婚」(高松市民会館19日・25日)                                  |
| 7月       | 「歌曲の夕べ」岡山文化センター<br>「モーツァルトの作品によるサマーコンサート」(高松農協会館)              | 12月                          | オペラ「魔笛」公演(倉敷市民会館13日)   |
| 10月      | オペラ公演「炭焼姫」「アマールと夜の訪問者」(井原9日・岡山10日)                             | 1982年 4月                     | 57年度会員募集<br>(17名応募、会員1名、準会員9名合格)                             |
| 1976年 3月 | 研究生修了演奏会   | 7月                           | 中山樗一リート研究会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)                                  |
| 4月       | 51年度会員募集<br>11名応募中会員3名、準会員4名合格。第三期研究生7名応募中6名合格。                | 7月                           | 永曾信夫演劇講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)                                   |
| 9月       | 二期会オペラコンサート(香川会室)<br>創作オペラ「あまんじゃくとうりこ姫」(高松市民会館)                | 10月                          | 二期会オペラコンサート<br>「オペラアンサンブル」「あまんじゃくとうりこ姫」<br>(岡山市民文化ホール1日)     |
| 10月      | 演奏会形式によるオペラ「ドン・ジョヴァンニ」(岡山市民文化ホール)                              | 12月                          | 第6回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)                                     |
| 12月      | 第1回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)                                       | 1983年 2月                     | 第二期会四国支部設立   |
| 1977年 3月 | 第三期研究生卒業演奏会  | 1983年 3月                     | 58年度会員募集<br>(6名応募、会員1名、準会員5名合格)                              |
| 4月       | 52年度会員募集<br>(18名応募、11名合格)                                      | 10月                          | 設立10周年記念オペラ「フィガロの結婚」(倉敷・福山)                                  |
| 10月      | 新人紹介演奏会  | 1984年 4月                     | 59年度会員募集<br>(12名応募、会員2名、準会員6名合格)                             |
| 11月      | 二期会オペラコンサート(高松19日・観音寺20日)                                      | 5月                           | 野上義臣個展(岡山市民文化ホール12日)   |
| 12月      | 第2回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール)                                       | 8月                           | 永曾信夫基礎演技講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)                                 |
| 1978年 9月 | 二期会オペラ公演「泥棒とオールドミス」<br>「人買太郎兵衛」(高松7日・丸亀9日・観音寺10日)              | 11月                          | 二期会オペラ「おこんじょうり」(岡山・福山)                                       |
| 10月      | モーツァルト三大オペラハイライト「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」<br>「魔笛」(岡山市民会館30日)        | 1985年 4月                     | 60年度会員募集<br>(7名応募、会員1名 準会員3名合格)                              |
| 12月      | 第3回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール23日)                                    | 4月                           | 菱川欣三郎、山下耕司二人展(岡山市民文化ホール29日)                                  |
| 1979年 9月 | 54年度会員募集<br>(11名応募、会員1名 準会員5名合格)                               | 8月                           | 岸井克己メイク講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)                                  |
| 10月      | オペラ「海の子守歌」公演(岡山市民会館11日)  | 清宮秀高基礎演技講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール) |  |
| 12月      | オペラ「炭焼姫」オペラ「アメリカ舞踏会へ行く」<br>(15日観音寺市民会館、16日丸亀市民会館、17日18日高松市民会館) | 11月                          | オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」公演(福山市民会館 14日)                               |
|          | 第4回ゴールデンコンサート(岡山市民文化ホール 22日)                                   | 12月                          | オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」公演(岡山市民会館 1日)                                |



- 1986年4月 61年度会員募集  
(12名応募、会員2名 準会員8名合格)  
4月 河田文忠、上岡洋一二人展(岡山市民文化ホール 15日)  
7月 永曾信夫基礎演技講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
9月 三木記念助成金受賞  
10月 オペラ「うかれのひょう六機織唄」(岡山市民文化ホール 12日)
- 1987年3月 62年度会員募集  
(6名応募、会員1名 準会員3名合格)  
4月 青木省三、山岸磨夫二人展(岡山市民文化ホール24日)  
7月 松井和彦夏期講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
11月 オペラ「カルメン」公演(倉敷市民会館 3日・福山市民会館 29日)
- 1988年2月 文化庁優秀舞台芸術奨励公演  
オペラ「うかれのひょう六機織唄」(備前市市民センター)  
3月 63年度会員募集(10名応募、会員1名、準会員7名合格)  
4月 日本の抒情(岡山市民文化ホール 28日)  
8月 松井和彦夏期講習会(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
10月 オペラ「海へのりゆく者たち」泥棒とオールドミス  
(福山市民会館小ホール25日 岡山市民文化ホール30日)
- 1989年3月 年度会員募集  
(12名応募、会員1名 準会員6名合格)  
4月 日本の抒情II-白秋によせて(岡山市民文化ホール 22日)  
7月 夏期講習会  
11月 オペラ「こうもり」公演(倉敷市民会館 11日・12日)
- 1990年3月 2年度会員募集  
(7名応募、会員2名 準会員3名合格)  
4月 中田喜直歌曲の夕べ  
(岡山市民文化ホール 24日・福山市民会館小ホール26日)  
8月 松井和彦夏期講習会  
公開レッスン「オペラのアリア、重唱を研究する」  
(岡山大学教育学部音楽教室ホール)  
10月 親子で楽しむファミリーオペラ&オペラアリア集  
オペラ「泣いた赤鬼」(岡山市民文化ホール 26日)  
11月 親子で楽しむファミリーオペラ&オペラアリア集  
オペラ「泣いた赤鬼」(福山市会館大ホール 2日)
- 1991年3月 3年度会員募集  
(4名応募、会員1名 準会員1名合格)  
伊藤京子 日本歌曲研究会(中国短大)  
10月 岡山シンフォニーホール開館記念・岡山市芸術祭参加オペラ  
「ヘンゼルとグレーテル」(岡山シンフォニーホール 6日)
- 1992年1月 岡山シンフォニーホール開館記念委嘱作品  
歌劇「ワカヒメ」(岡山シンフォニーホール 25日・26日)  
3月 4年度会員募集  
(3名応募 会員1名 準会員1名合格)
- 5月 歌曲の夕べ ピアノ 三浦洋一  
(福山市民会館小ホール 16日・倉敷公民館 29日)
- 8月 園山土筆夏期講習会  
「演劇と日本語の講習」(岡山シンフォニーホール 30日)
- 11月 岡山芸術祭第30回記念・岡山市芸術祭中心公演  
オペラ「夕鶴」(岡山シンフォニーホール 23日)
- 1993年9月 5年度会員募集  
(8名応募 会員1名 準会員7名合格)  
5月 歌曲の夕べ(岡山市民文化ホール 17日)  
(広島県民文化センターふくやま 22日)  
7月 H. クレッチマル教授夏期講習会  
公開レッスン「リート研究会」(岡山シンフォニーホール 20日)
- 1994年1月 設立20周年記念ガラコンサート  
(岡山シンフォニーホール 9日)  
(福山市民会館大ホール 15日)  
3月 6年度会員募集  
(6名応募 会員1名 準会員4名合格)  
6月 学校公演(近畿大学付属福山高校 20日)  
8月 田原祥一郎夏期講習会  
公開レッスン「ベル・カントの発声法をもとめて」  
(県民文化センターふくやま 7日)
- 中村敬一夏期講習会  
「オペラの演技について」(中国短期大学 20・21日)
- 11月 倉敷芸文館 開館1周年記念  
オペラ「魔笛」(倉敷芸文館 12・13日)  
12月 中村敬一先生による「フィガロの結婚」  
——とっておきの楽しみ方——(リーデンローズ小ホール 9日)  
中国二期会ふくやま結成記念  
「ロマンティック・オペラコンサート」(リーデンローズ小ホール 17日)
- 1995年4月 7年度会員募集  
(9名応募 会員2名 準会員4人合格)  
5月 「夢をうたう若い歌い手たちのための」  
(リーデンローズ小ホール 27日)  
7月 森島英子夏期講習会 公開レッスン  
「歌とピアノで表現するオペラ空間」(リーデンローズ練習室 8日)  
8月 中村敬一夏期講習会  
「歌唱と演技、オペラにおける表現法」(県立大学短期大学部5・6日)  
10月 秋のオペラコンサート  
「オペラ OPERA おべら」(岡山市民文化ホール 16日)  
12月 ふくやま芸術文化ホールリーデンローズ開館一周年記念  
市民が祝う市制80周年プレイベント・第16回福山市芸術祭公演  
喜歌劇「こうもり」(リーデンローズ大ホール 9・10日)

## 中国二期会会員名簿

顧問	糸賀 英憲
	近藤 安介
理事長	大原 正義
副理事長	平本 弘子 (中国二期会ふくやま代表)
理事	岡崎 順子
〃	虫明 和子
〃	矢内 淑子
〃	浜崎 明美
〃	山脇 恵子

### ■ソプラノ

正会員	虫明 和子 (岡山)
・	平本 弘子 (広島)
	萱岡美津栄 (岡山)
	浜崎 明美 (岡山)
	岡崎 順子 (岡山)
	中野 良子 (岡山)
・	宗盛ゆきみ (広島)
・	山脇 恵子 (広島)
	高橋 昌子 (岡山)
	加治 郷子 (岡山)
・	土井 範江 (広島)
	康広美千子 (岡山)
	大森 友子 (岡山)
・	神野 靖子 (広島)
	安原裕美子 (岡山)
準会員	・神原久美子 (広島)
	北川 純子 (岡山)
	松本 弘美 (岡山)
	梅原 千世 (岡山)
	長安 信子 (広島)

・	中川しのぶ (広島)
	慶児 道代 (岡山)
	藤井 恵子 (岡山)
	柴田久美子 (岡山)
・	平田佐和子 (広島)
	桑原 直美 (岡山)
	窪田 陽子 (岡山)
	十場 智子 (岡山)
	鈴木 恒美 (広島)
・	塩出 真弓 (広島)
・	清水 史子 (広島)
	山尾真知子 (岡山)
・	勇木 沢美 (広島)
	太田美智子 (岡山)
	岡野 恭子 (岡山)
・	寺戸 玲子 (広島)
・	青木 裕里 (広島)
・	加島 裕美 (広島)
	田口 悦子 (岡山)
・	廣瀬 倫子 (広島)

### ■メゾソプラノ・アルト

正会員	矢内 淑子 (岡山)
・	藤井 美雪 (広島)
準会員	藤岡 明美 (岡山)
	脇本 恵子 (岡山)
・	黒川 泉 (広島)
	小松原知代子 (岡山)
・	竹内千佳子 (広島)

### ■テノール

正会員	・柳井 弘文 (広島)
準会員	渡邊 均 (岡山)
	平尾 嘉克 (岡山)
	松本 敏雄 (岡山)

### ■バリトン・バス

正会員	大原 正義 (岡山)
準会員	藤本 政志 (広島)
・	川西 顕 (広島)

### ■事務局

王垣夫規子  
川内 浩美

・印 中国二期会ふくやま会員

### 事務局

〒720 福山市久松台 2 丁目18-20 TEL0849 (21) 8519

〒703 岡山市山崎312-85 TELorFAX086 (276) 1337

